

ブース出展

## 「理学部、ささやかな薄化粧」

ISO14001 施設準備委員 佐藤利幸・高橋耕一

きびしい財政は日本・大学そして個人へと影を投げかけています。クーラの電気料金を抑えるために、壁に植物の影を落とすことを考えました。

- (1)「つた」を匍匐させる。アサガオを育てる。
- (2)窓辺(外)にプランタを置く。
- (3)「ふじ」・「くず」のマメ科大形草本を窓から垂らす。
- (4)壁へ穴をあけ、雑草をよびこむ。

街中では美しいハンギングバスケットや庭園などの工夫があります。クールビズなど個人の努力で都市温暖化を少しでも緩和しようという努力がなされています。20 世紀の消費時代をこえ、省費時代の幕開けを比較的貧しい理学部から「ささやかなチャレンジ」を紹介します。すでに穴あきブロックへの雑草導入は「ささやかな成果」を生んでいます。

なにかいいアイデアはありますか？お教えてください。